

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		3		作成日		30年 6月 26日		
事務事業名		墓地公園管理運営経費						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	町民課		係名	戸籍住基係
		4-2 良好な生活環境のまちをつくる						シート作成者				
	施策	4-2-1 環境衛生対策の推進						予算費目	会計		一般	
									款		4	
主要施策	⑤ 墓地・火葬場の充実						項		1			
							目		6			
個別計画名												
住民との関わり		その他										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	墓地公園利用者				やすらぎのあるより良い環境づくりを進め、墓地公園利用者が気持ちよく過ごせるよう計画的な維持管理を行う。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		墓地空き区画の募集…利用者から返還された区画について、公開抽選の方式により希望者へ募集を行う。 墓地公園管理基金の利用…墓地利用者から納付される管理料を基金として積み立てています。基金については墓地公園の効果的な維持管理に活用することが必要です。 ※平成29年度末基金残高（53,616,678円）										
事業期間		昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 62年度～平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		東員町墓地公園管理基金の設置、管理及び処分に関する条例、東員町墓地公園の設置及び管理に関する条例、東員町墓地公園の設置及び管理に関する条例施行規則										
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0			5,104			5,085				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			2,650			2,194			
	一般財源		0			2,454			1,967			
直接事業費（千円）A		0			5,104			4,161				
人件費（千円）B		0			0			924				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00人 0		0.00人 0		0.14人 924					
	臨時職員（人・千円）		0.00人 0		0.00人 0		0.00人 0					
成果指標	成果指標名				単位	29年度		30年度	31年度			
						目標	実績	(目標)	(目標)			
	①	墓地の利用区画（A区画）			区画	834	829	834	834			
	②	墓地の利用区画（B区画）			区画	273	264	273	273			
③												
説明												

事業名		墓地公園管理運営経費		シート作成課		町民課		
一次評価者		町民課長		二次評価者		生活部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区画に空きがはじまりましたが、少数で利用者数は多くあります。今後も維持管理が必要と考えます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当時ネオポリス造成に伴い、墓地の必要性が求められました。現在も1000を超える利用があり、多くの方の希望がかなえられる施設です。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	墓地の区画はおおむね利用者≒必要者となっています。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の効率的な運用ができるよう、施設の維持管理に努めます。	
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>								
墓地公園設置から全ての区画が埋まる状態が続いていたが、昨今は世代交代や町外への転出、墓地のあり方に関する意識の変容など、社会の変化に伴い、墓地希望者より区画の返還が若干ですが上回ってきています。利用者がある以上維持が必要な施設ではありますが、将来的には町営として、また全国的に墓地のあり方が問われる時代が来るかもしれません。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C	
今後の改革・改善目標	利用者の納付した管理費について基金として積み立てています。利用者へ還元するためにも基金の利用方法についての検討が必要です。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C	
コメント	高齢化に伴い、利用に関して不便に感じるところも出てきました。より利用しやすい施設にすることを検討する必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				